

EVとEVインフラの現状について



EV充電インフラの利用シーン

ガソリン車と異なり、自宅・オフィス・外出先での滞在時間を有効活用して充電するような行動が取られます
エネチェンジでは基礎充電・目的地充電の普通充電サービスを提供しています

①基礎充電

車を使わない時間帯での充電



普通充電

例：集合住宅、事業所、月極駐車場

集合住宅への支援強化

②経路充電

移動途中での充電



急速充電

例：高速SA/PA、道の駅、カーディーラー

③目的地充電

到着までに使用した電気を補充



普通充電

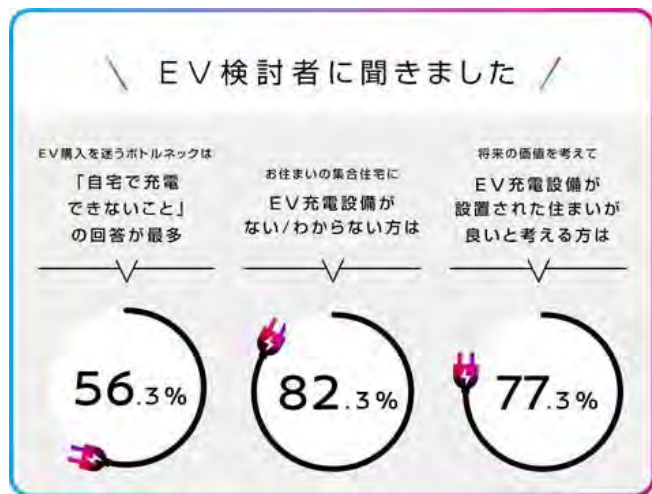
例：商業施設、宿泊施設、レジャー施設

利用される施設への設置

集合住宅へのEV充電インフラのニーズ

マンションへのEV充電設備の設置ニーズは高まりつつあり、入居者の選択肢の1つになっています

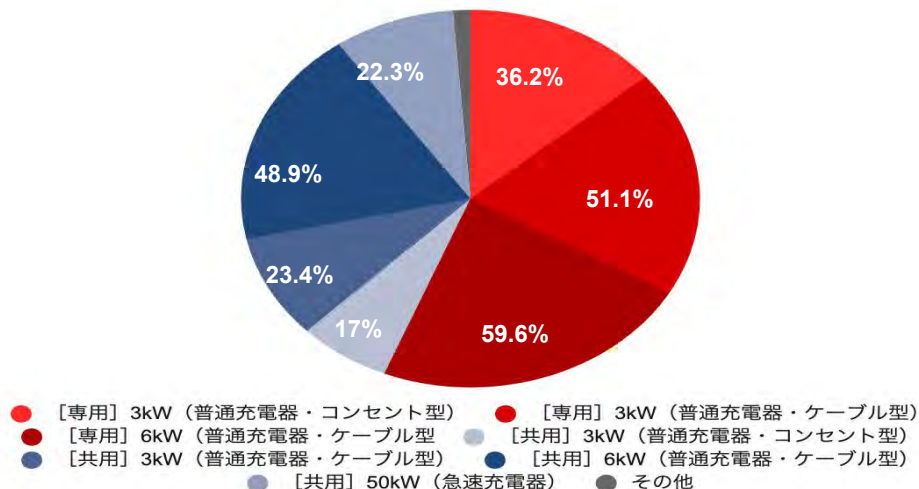
EV購入検討者向けのアンケート結果



出典：日産自動車調査【EVと住環境についての調査リリース】集合住宅も「将来を見据え、EV充電器が設置されている住まいが良い」が約8割。 <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/0000000076.000065945.html>

EVオーナーを対象とした調査

Q. 集合住宅の充電設備として、「積極的に利用したい」と感じる充電設備はどれですか？



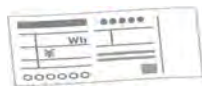
賃貸住宅でのEV充電器設置の課題

賃貸住宅へのEV充電器設置には多くの課題がある為、エネチェンジでは解決できるサービスを用意しています

集合住宅での課題

課題1

- 初期導入費用が発生



課題2

- 充電器設置に伴う、電気基本料金が発生



課題3

- まだ設置するタイミングではない？



設置費用・電気代も 0円、オーナー様の負担はなし
利用したユーザーのみ充電料金お支払い

エネチェンジが電気契約者になることで、基本料金や従量料金
等、オーナー様の負担を軽減したご提案が可能

マンション・集合住宅向け
EV充電器が

設置費用
月額費用
電気代負担

0円
すべて

これから徐々にEVが普及して来るタイミングなので、
補助金がある内に、EV充電器を設置し、
住民の方がEVを購入しても安心して住めるように、
物件の価値向上を目指すことをお勧めいたします。

EV充電エネチェンジ サービス紹介



コンパクトで高性能な充電器

2023年グッドデザイン賞を受賞！！
設置した多くの施設から、高い評価を得ています



ENECHANGEのEV充電器の特徴

- ・ **6kWのケーブル付普通充電器**
- ・ 車種にもよりますが最大で10時間以内で満充電可能です。3kWは倍の時間がかかります)
- ・ 国の補助金対象機器で、JARI認証という厳しい製品審査もクリア

- ・ 日本で発売されている全てのEV/PHVで利用可能な充電コネクタ形状 (TYPE 1) ※Teslaは変換コネクタが必要
- ・ 充電スタンドは設置場所により変更になります



サイズ

- ・ 横260×縦280×奥行100mm
- ・ 最上部 約1,870mm
- ・ ケーブル長さ:5m

その他

- ・ 4G通信による制御・稼働監視
- ・ 寒冷地域、塩害地域での設置
- ・ 景観条例に合わせた環境色対応可能

*参照:[普通充電器の認証制度「JARI認証」とは？](#)

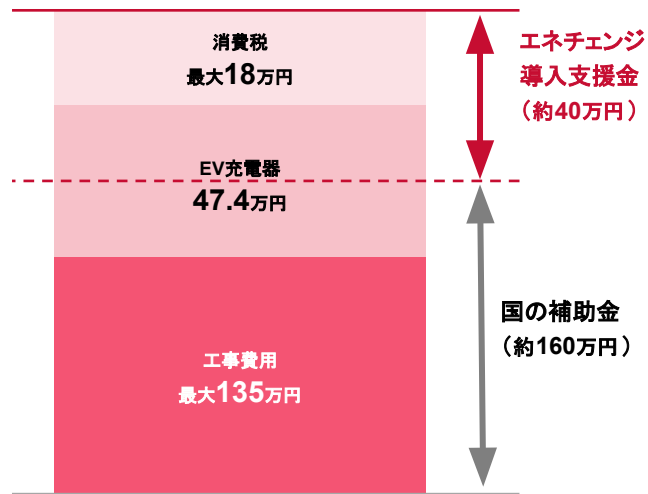
料金プラン／キャンペーン



【期間限定】マンションゼロプランのキャンペーン

初期費用、月額利用料 0円で充電器が設置できる「マンションゼロプラン」を期間限定で提供しています
国の補助金に上乗せしてエネチェンジが導入支援金を提供し、無料でEV充電器を設置できます

補助金の費用負担イメージ



導入条件

- 経産省の補助金は充電器本体に50%、工事費に100%の補助金が支給されます。
- 補助金は審査制（入札制）となります。
申請の通過には、**厳格な申請書類のチェックと設置後に実績報告が必要**となります。既に多数の補助金申請実績のある当社だからこそ、安心してお申込頂いております。

充電器設置の条件



11台以上の車室に最大で車室の 10%程度(小数点切上)
(東京都は制限なし ※補助金要件次第では、上限値
を設ける可能性があります)
※10台以下の場合もご相談ください。

料金プラン

全て0円で利用できるプランを提供しています

マンション向けの料金プラン

マンションゼロプラン	
補助金活用ありプラン	
セットアップ費 (機器費・設置工事費)	0円
月額費用	0円
電気基本料金※1	0円 エネチェンジが契約者となります
充電利用料金※2	1時間 270円 (6kW充電時) (1kWh≒45円)
設置台数制限	最低2台～ 東京都は台数制限なし (⇒全車室可能も、補助金要件次第で上限値を設ける可能性有)
契約期間	8年間
充電器出力	3kW/6kWどちらも対応

※1 特例引込する際にエネチェンジが契約者となるため、オーナー様の基本料金等の金額負担が0円となります

※2 電気代単価の高騰により充電料金を変更する場合がございます

※3 既存充電器がある場合にも、撤去費用を含めた入替設置についても対応可能ですのでご相談ください

東京都のEV充電器設置義務化

2025年以降の新築マンションへの EV充電器設置義務化が始まります。
それに伴い、既存マンションへの EV充電器設置に対しても関心が高まっております。

目標達成に向けた取組

導入支援

補助事業の拡充 (R5年度)

- 集合住宅向けの補助件数を大幅拡充、機械式駐車場への設置工事費の上限額を拡充
- 現地調査等の経費や充電器設置のために新たに引き込む電気の基本料金を支援 (新規)

広報の充実

WEBサイト、普及啓発動画、リーフレットを作成8月中完成予定)

導入ニーズの掘起し

- アンケート調査の実施 (都内マンション1万棟を対象に実施中)
- 無料相談会 (マッチング会) の実施8月下旬開催予定)

充電設備普及促進事業 (R5年度)

助成対象設備	設備購入費	設置工事費
普通充電設備 (充電用スタンド)	半額 (機種ごとの上限あり)	上限: 81万円 (1基目) 上限: 40万円 (2基目以降)

2030年目標「都内の集合住宅に ZEV充電設備を 6万基設置」
※都の総合計画「未来の東京戦略」のバージョンアップ 2023 (令和 5年1月策定) で公表

■ 備考)導入にあたり注意点

下記、導入に際してご留意頂きたい点となります

左部の詳細は、導入同意書及び申込書内の規約に記載しております

＜ご利用開始前のキャンセル料に関して＞

・利用申込書ご提出後、管理組合様都合に伴うキャンセル料は下記の通り。

- 現地調査日程確定後
 - 5万円
- 現地調査実施後、設置箇所変更に伴う再現調
 - 5万円
- 補助金の申請書類作成後
 - 15万円
- 補助金の申請後
 - 100万円

＜機器設置後のご解約に関して＞

- 利用開始後、5年以内
 - 10,000円×残存契約月数、弊社が負担した工事費、補助金申請時に弊社が負担した事務手数料、補助金返還義務に生じて発生した金額及びその他補助金に関連して弊社が負担する費用、撤去費
- 利用開始後、5年以後8年未満
 - 10,000円×残存契約月数、撤去費
- 8年経過以降
 - 撤去費（ご利用状況を鑑みて、リプレイスのご提案をさせていただきます）

＜その他留意点＞

- 補助金申請の特性上(審査制)、設置箇所は弊社にて指定させていただきます
⇒管理組合様のご要望に沿えない可能性がある点ご注意ください
- 現地調査時に、原則管理組合様にご同席頂きます
⇒1度の現地調査にて設計を確定させていただきます。スムーズに現地調査を進めさせていただくため、事前に駐車場の図面や電気結線図等のご提出をお願いしております。(別途ご案内有)
- お申込以後は、電話及びメール中心のやり取りを実施させていただきます
⇒お申込以後は、営業担当と別部門担当(施工管理等)より、適時ご依頼等のご連絡をさせていただきます。予め、ご承知おきください。
- 施工日については、弊社が指定・ご案内する日時にてご調整下さい。
⇒限られた日数内での施工となりますので、施工店の効率を鑑みた工程調整を行っております。
- 店舗や事務所付き物件の場合、店舗や事務所専用の駐車場台数分は基礎充電としての補助金の申請対象台数に含めることが出来ません。
- ご協力ご理解の程、宜しく申し上げます。

FAQ

Q1. 充電器1台設置に対して電気容量はどのくらい必要？

A1.

1基40アンペアを推奨しています。

Q2. ゼロプランの設置にあたって別途費用はかかりますか？

A2.

発生しません。補助金の場合、充電器1台あたりの「補助金上限額に収まらない費用」や、「補助金対象外の工事」が発生した場合は工事前にご相談し、別途ご負担いただきます。

Q3. 適切な設置がわからないのですが、どのようにしたら良いですか？

A3.

現地調査を実施して電気容量、車室数、設置スペースなどを確認し、最適な設置台数をご提案させていただきます。

Q4. 契約期間終了後は？

A4.

1年毎の自動更新となります。

参考
EV充電エネチェンジの強み



エネチェンジの強み③ 利用時間の長さ

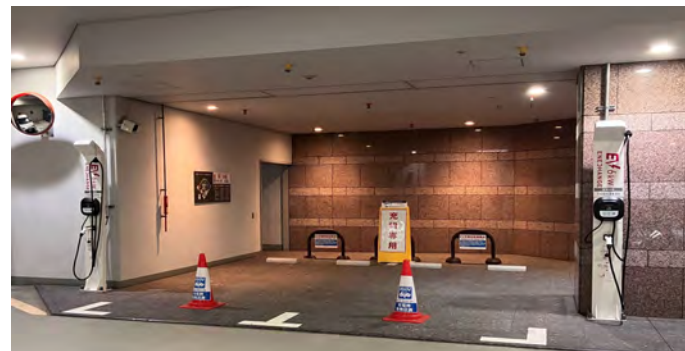
EV充電エネチェンジは、利用者数 No.1のEV充電アプリのほか、充電カードも利用できることで多くの方にご利用をいただいております。充電利用時間が長いことも強みです。より充電利用を増やすための取り組みとして、スタンドサインなどの付帯品のご提供も始めます。

充電時間(推定値)



※1ヶ月1口あたりの充電時間(参考値)
1日あたりの充電時間(参考値)を、その月の日数(1月の場合は31日)で乗算

充電時間を増加させる取り組み(一例)



サインスタンド
(イメージ)

ポスターなど

上記ほか、タクシー広告などのプロモーションにより認知向上のための取り組みも実施しています

充電器の比較

集合住宅のEV充電器は普通充電器の特徴を活用した運用方法がびったりです

普通充電器／急速充電器／コンセント充電器の比較

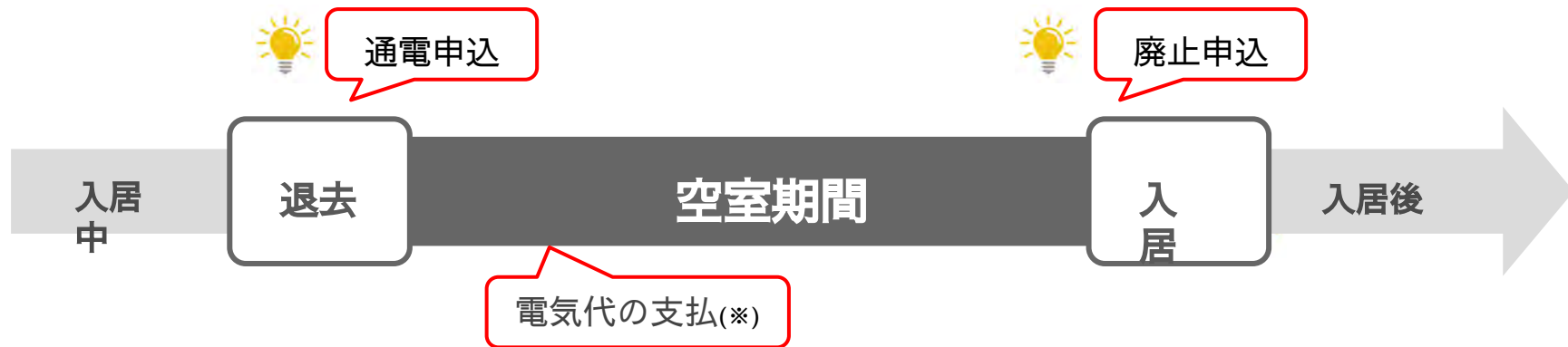
		普通充電器	急速充電器	コンセント充電器
運用面	一般的な利用制限時間	制限時間なし	30分/回 30分後に移動が一般的な運用	制限時間なし
	充電目安時間	1～8時間	0.5～1時間	8～20時間
	出力	6kW	50～150kW	1.2～3kW
	ケーブル	あり	あり	なし
コスト面	本体価格	17～80万円程度(ケーブル付き)	200～1,000万円程度	1～15万円程度
	工事費	20～30万円程度	250～1,000万円程度	10万円程度
	保守メンテナンス	一般的には不要	年間30万円程度 さらに高圧電気基本料金 年100～300万円程度	一般的には不要

※ 日産リーフの場合、残量40%から充電時（バッテリー：60kWh）
充電時間は理論的な概算です。実際の数値と異なる場合があります。

空室通電エネチェンジのご案内

管理物件の入居者が退去してから、入居するまでの空室期間の業務や電気代が本サービスの対象となります。

※ただし、空室時の電気代の負担対象は原則5kWh/月までとし、それ以上については負担の対象外となる場合があります。（詳細は要相談）



■ 弊社にて代行する業務範囲

1. 通電申込
2. 廃止申込
3. 空室時の電気代の支払(※)

■ Webシステムにて下記の手続きを簡単に対応いただけます。

1. 通電・廃止依頼：WEB上でのステータス変更のみで依頼が可能。
2. 通電状況の確認：Web上で一覧で確認が可能。
3. 物件登録：CSVによる一括登録が可能。

※当社にて初回登録作業をサポートいたします。

※弊社が空室時の電気代を負担する物件には、ご入居される方のお客さま情報の当社への連携が必須などの条件がございます。

詳しくは、契約書および本マニュアルをご参照ください。

※弊社が空室物件の通電・廃止申し込みを代行し、当社名義で電力会社との契約を締結いたします。